

1 単元名 「冬野菜を育てよう」

2 単元について

(1) 児童の実態〔5年3組・5人〕

児童はこれまでに野菜の苗や種を植えて、定期的に水やりをし、収穫や調理をする活動を経験している。今年度学級では、夏野菜の苗を植え、収穫し食べるという活動を行い、気付いたことなどを観察記録に書くことができた。しかし、野菜を育てる上で、収穫量が少なかったり、すぐに枯れてしまったりという経験もし、そのような課題をどのように解決するかを考えるには、至らなかった。これは、人に聞くとという経験が少なかったり、自分で育てるという実感が薄かったりすることが理由だと考えられる。

(2) 単元観

本単元は、冬野菜の栽培について学習するに当たり、特別支援学校小学部学習指導要領生活科、国語科、及び小学校学習指導要領道徳科の主に以下の内容を基に設定している。

小学部 生活科 2段階 サ生命・自然

身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする事。

身近な生命や自然について知ること。

小学部 国語科 2段階 A聞くこと・話すこと、B書くこと

体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。

経験したことのうち、身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。

小学部 道徳科 中学年 自然愛護

自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。

本単元では、冬野菜の種を自分で植えて世話をすることで、自分で育てているという実感をもって、植物を大切にすることを養うことができる。また、種から育てていくことで、成長の変化に気付きやすく、それらを言葉で伝えることができると考える。

(3) 指導観

野菜を植える前に、野菜に詳しい先生にインタビューをする活動を通して、栽培途中で課題に直面した時に、自分たちで課題を解決することができるようにしたい。また、日頃から虫などに名前をつけ、愛着をもって世話をしていることから、野菜にも自分で考えた名前をつけ、より主体的に世話をできるようにしたい。

このような学習を通してより植物に関心をもち、主体的に栽培・観察することができると思う。また、課題を自分で解決することができたという経験を積むことができると思う。

なお、単元には、気付いたことを伝えたり、疑問に感じたことを質問したりする場面を設定した。(コミュニケーション) また、育てる野菜を選ぶ、野菜に自分で考えた名前を付けるなどの自己決定(生活スキル)をする場面や、栽培にあたっての仕事・責任感(社会・集団生活)、調理の際の協力(社会・集団生活)する活動を取り入れた。

3 単元目標

- 冬野菜を知り、世話をすることで、成長の変化に気付く。 [知識及び技能]
- 栽培するに当たり疑問に思うことを質問したり、成長の変化について気付いたことを自分なりの方法で表現したりする。 [思考力、判断力、表現力等]
- 進んで植物の栽培に取り組み、観察を続け、成長の変化に喜びを感じながら、学習に向かう。 [学びに向かう力、人間性等]

4 指導計画

※ 単元・題材シートの「指導計画」を参照。

「生活単元学習」単元シート（ 5年・知的 ）

単元名	冬野菜を育てよう	期 間	10～12月	児童数	職員数
			11時間	5	2
実態における単元設定	昨年度は、冬野菜の種を植えて、定期的に水やりをし、収穫や調理をする活動を体験している。今年度は、夏野菜の栽培に取り組んだが、たくさん実がならない、病気になるなどの課題に直面することもあった。そこで、本単元では、種を植える前に、野菜に詳しい先生に質問する活動を取り入れて、質問する経験を積むことで、自分たちで課題を解決しながら、冬野菜作りに取り組んでいけるようにしたい。また、収穫した野菜を調理して食べるようにし、栽培に興味をもって取り組めるようにしたい。				
取り扱う各教科の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の変化が分かり、自分で育てるという実感をもって栽培する。【生活サ2段階「動物の飼育・植物の栽培」】 体験したことなどについて、伝えたいことを考える。【国語A聞くこと・話すこと2段階】 植物の成長の不思議さを感じ取り、大切に育てる。【道徳D自然愛護、生命の尊さ中学年】 				
単元目標	知識及び技能	冬野菜を知り、世話をすることで、成長の変化に気付く。			国語、生活
	思考力、判断力、表現力等	栽培するに当たり疑問に思うことを質問したり、成長の変化について気付いたことを自分なりの方法で表現したりする。			国語、生活
	学びに向かう力、人間性等	進んで植物の栽培に取り組み、観察を続け、成長の変化に喜びを感じながら、学習に向かう。			生活、国語、道徳
指導計画	学習内容「冬野菜を植えよう」（栽培準備・種植え）（4時間）〈3／4本時〉 1 夏野菜を育てた経験を振り返り、育てたい冬野菜を考えたり、本やインターネットで調べたりする。（生活）（国語） 2 インタビューの内容を考えたり、練習したりし、インタビューに行く。（国語）※1 3 ・インタビューを映像で振り返り、分かったことを整理する。（国語） ・どの野菜を植えたいかを決める。（生活） ・野菜のマイキャラクターを考え、野菜に自分で考えた名前を付け、ネームプレートを作る。（図工） ※2 4 種の観察をし、観察記録を書き、種植えをする。（生活）（国語）				〈目指す児童の姿〉 ・ 伝える・聞く（コミュ） ・ 自己決定（生活） ・ 余暇（社会・集団）
	学習内容「冬野菜の世話をしよう」（栽培・観察）（3時間） 1 観察しよう ※3 ・ 成長の変化が分かり、感じたこと、気付いたことなどを自分なりに表現する。（生活）（国語） ・ 葉の形や大きさ、手触りにおいなどを感じる。（国語）（生活） ・ 観察日記をつける。（国語）（算数）（図工） ・ 成長を見守り大切に育てる。（道徳）				・ 仕事・責任感（社会・集団） ・ 伝える（コミュ） ・ 自己決定（生活）
	学習内容「冬野菜を収穫しよう」（収穫、調理）（4時間） 1 野菜の収穫 2 野菜を使った調理をし、食べる。 ※4 3 学習のまとめ ・ これまでの学習や、世話の仕方を振り返る。（生活）（国語）（道徳）				・ 仕事 ・ 協力・役割（社会・集団） ・ 伝える・聞く（コミュ）
共通理解事項等	※1 インタビューの様子を振り返ることができるように、動画で撮影する。 ※2 ネームプレートの制作に見通しをもてるように、例を用意しておく。 ※3 発芽時と収穫までの間に2回の計3回、観察記録を書くようにする。水やりや観察は、雨天時以外、毎朝行うようにする。 ※4 調理、試食、片付け等で2時間設定し、感染症の対策をし、できる範囲で行い、収穫の達成感を味わえるようにする。				
〈良かった点・改善策→教育課程〉					
○					
●					

5 本時

単元名	冬野菜を育てよう「冬野菜を植えよう」	時数	3 / 4	期日	令和 4年 10月 20日 (木) 3校時	場所	小5-3教室
目標	<ul style="list-style-type: none"> インタビューを聞いて、冬野菜について知ることができる。(知識及び技能) 育てたい野菜を決め、ネームプレートを作ることができる。(思考力、表現力、判断力等) 						
時間	主な学習活動	関連する各教科の内容	指導上の留意点 (★は目指す児童の姿に関する手立て)				
5分 10分 20分 10分	1 始めの挨拶 2 絵本の読み聞かせを聞く。 3 今日の学習 育てる野菜を決めて、ネームプレートをつくろう。 (1) インタビューの様子を見る。 ・分かったことを確認する。 (2) 育てる野菜を決める。 (3) ネームプレートを作る。 ・野菜に自分で考えた名前をつける。 ・野菜のキャラクターを描く。	【生活-生命・自然】 いろいろな野菜が出てくる絵本を見て、野菜について知る。 【生活-生命・自然】 インタビューの内容を聞いて、植物について知る。 【国語-聞くこと】 インタビューの内容の大切なところを聞き取る。 【国語-話すこと】 相手に伝わるように発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを聞いて、色々な野菜について知ることができるようにする。 ★ インタビューの映像を見ながら質問することで、大切なことを聞き取り、分かったことを伝えられるようにする。【聞く・伝える】 ★ 育てる野菜にオリジナルの名前をつける活動では、教師が例を示してやることの見通しをもたせたり、選択肢を用意したりすることで、自分で決められるようにする。【自己決定】 野菜のキャラクターを描く際にも、見通しがもてるように教師が例を示す。 ★ 前に出て、自分の作ったネームプレートを発表することができるようにする。【伝える】 ・ 種植えへの期待感をもたせるために、種の実物を提示する。 				
場の設定							

生活単元学習評価シート 【5年「冬野菜を育てよう」】

評価の観点

知識及び技能	A インタビューを聞いて、冬野菜について知ることができたか。 B ネームプレートに野菜の名前を書いたり、絵を描いたりすることができたか。 C 自分が作ったネームプレートを発表することができたか。
思考力, 判断力, 表現力等	D (例) 育てたい野菜を決め、野菜の名前を自分で決めたり、野菜のキャラクターを考えて描いたりすることができた。
主体的に学習に取り組む態度	E (例) ネームプレート作りに進んで取り組むことができた。
目指す児童の姿	F (例) 自分で考えながらネームプレートを作り(自己決定)、野菜を育てることへの期待感をもつことができた。

児童名	知識及び技能			思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	目指す児童の姿
	A	B	C	D	E	F
A	○	○	◎	恥ずかしがりながらも、自分で名前をつけることができていた。	友達の欠席もあり、やや気分がのらない様子だったが、ラデッシュの顔を描くことができていた。	野菜を決める場面では、人参から意見を変え、「初めての野菜のラデッシュを育てたい。」という発言があった。
B	○	○	◎	大根がいいと言っていたが、人参を選んでいった。名前を自分で選ぶことができた。	意欲的にネームプレート作りに取り組んでいた。	ネームプレートを前の手本をよく見ながら描いていた。
C	○	◎	◎	周りの意見と調整しながら、ほうれん草を育てることに決めることができた。	キャラクターを服の色を土の茶色にしたり、三兄弟にしたりと、よく考えて描いていた。	ほうれん草のキャラクターを考えていく中で、意欲が高まってきていた。
D	○	○	○	教師と一緒に、大根の名前の選択肢から好きな名前を選ぶことができた。	最初に大根を自分から描くことができた。	落ち着かない様子もあったが、授業に参加したり、種を触ったりできた。
E (欠席)						

※ 「知識及び技能」の評価は「◎：達成できた ○：ほぼ達成できた △：達成できなかった」で実施し、その他の項目の評価は端的に記述で評価する。